

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3071400182		
法人名	有限会社 ライフパートナー		
事業所名	すずらん		
所在地	海南市小野田1620-102		
自己評価作成日	平成22年9月13日	評価結果市町村受理日	平成22年11月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokohyo-wakayama.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3071400182&SGD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 認知症サポートわかやま		
所在地	和歌山市四番丁52 ハラダビル2F		
訪問調査日	平成22年9月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>①事業所の畑で収穫した季節の野菜を取り入れた献立 ②週2回魚屋が行商に来てくれ 地域の方も買いに来られる</p>

<p>新興住宅街の一角にある民家風の建物の2階部分で、1階にはデイサービスが併設されておりエレベーターで行き来ができる。グループホームの玄関は外階段を昇った所にあり、前にはウッドテラスが作られている。すぐそばの山には栗の木もあり秋には栗拾いも楽しめる。ホーム内は家庭的な温かい雰囲気になっていて、職員も和やかにケアを行っている。入居者が各自のペースで日々生活できるように支援しており、初対面の人もすぐに打ち解けて陽気な会話が交わされている。前の畑では「園芸サポーター」というボランティアの協力で野菜作りが行われ、日々の食卓に上がっている。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	見える所に掲げ、日々実践に取り組んでいる	前回の評価を受け、地域との関係も含めた理念を新しく作り上げている。理念は共用空間の壁に掲げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	馴染みのスーパーへの買い物を通してスーパーの店員と交流ができています	職員2名が近くに住み、地域の様子は把握できている。開所から10年、少しずつ地域との繋がりもできていて散歩の時には気軽に言葉を交わすことはあるが、ホームを訪れる人は少ない。	お茶を飲みながら会話を楽しむなど、地域住民が気軽にホームを訪れることのできる機会が提供できるよう期待する。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	キャラバンメイトの方とサロンを開いていく予定にしている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の状況を説明し、意見等をサービスの向上に活かしている	会議は2カ月に1回の頻度で開催されており利用者も参加している。「園芸サポーター」というボランティアの参加もあり、積極的な意見交換がなされ地域づくりについても、事業所・住民・行政の協働取り組みが話し合われた。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護者の入居を通して福祉課と協力関係ができています	地域包括支援センターの職員とは運営推進会議以外でも連絡を密にとっているが、市の高齢介護課とは電話で相談する程度にとどまっている。	地域包括支援センターだけでなく、介護保険の直接の窓口である高齢介護課とも密接な協力関係が築かれることを期待する。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでいる 鍵もかけず、エレベーターのボタンにカバーもしていない	以前はエレベーターのボタンを押す入居者がいてボタンカバーをしていたが、今は外しており、玄関の施錠もせず、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待と認識できる事例がないよう、職員間の連携で防止に努めている		

【事業所名】すずらん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要な方には支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、理解して頂いている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を設けている	家族からは年に2回開催される家族会で個別に話を聞くほか、訪問時にも意見や要望を聞くようにしているが意見が出にくい家族もいる。	家族からの意見を求めていることを伝えて、家族アンケートの試みなど意見を出しやすい環境づくりに期待する。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員がいつでも意見を出せる機会を設けてくれている	職員からは申し送りやカンファレンスの際に意見を聞いている。少数意見も無視することなく、議題にとりあげケアに活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努力や実績を把握してくれている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受ける機会を積極的に与えてくれている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月一回地域密着会議に参加し、ネットワーク作りを行なっている		

【事業所名】すずらん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の声に耳を傾け、安心して過ごせるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	遠慮せずに話しができるような雰囲気作りと関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	訪看やOT等、必要なサービスを利用できるように対応し、支援者との連携に努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的ではなく、入居者が自ら選ぶ支援を大切にしている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が入居者を想う気持ちを受け止め大切にしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力もあり、馴染みの方を連れてきて下さったり、馴染みの場所へ行ったりされる方がいる	馴染みの人と会って食事やおセロゲームをする機会が持てるよう家族に協力を仰いでいる。買い物等外出の際には馴染みの場所へ行くなどして、関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	狭い空間の為、入居者同志の目が行き届き支えあう関係ができている		

【事業所名】すずらん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院で退所した方の見舞いを通し、これまでの関係性を大切にしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を利用し、本人本位の生活が送れるように支援している	部分的にセンター方式も取り入れ、本人の思いの把握に努めている。本人からの要望が出にくい場合には、家族からも意見を聞き本人本位のケアができるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族からの情報を元に、センター方式に記し、把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別記録やアセスメントツールを用い、状況把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族とは訪問の際に話し合い、生活の中での本人の思いや意見を汲み取った介護計画を作成している	スタッフからは申し送りや月に1回のカンファレンスで意見を聞き、本人や家族の希望も計画に盛り込んでいる。服薬など医療的な処置も考慮した詳細な計画が個別に立てられ、評価は3カ月に一度行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録と連絡ノートを用い、情報を共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人の看護ステーションやOTと医療連携体制をとっている		

【事業所名】すずらん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	法人の通所介護の催し等に参加したり、生活圏に広がりをもたしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の希望する医師の診察、往診をしてもらっている	かかりつけ医は本人や家族の希望する医療機関としている。診察は往診を原則としており、通院が必要な場合は家族に受診を依頼している。緊急時など家族が対応できない場合は受診支援も行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人の訪看ステーションと医療連携体制をとっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した場合は、病院関係者と情報交換に努めている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族の意向を確かめ、主治医と相談しながら方針を決め共有している	入居時に本人や家族と十分な話し合いを行い、ケア対応方針を共有している。重度化や終末期の対応には、医師、訪問看護ステーション、家族の協力・連携を得ながら対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルは手の届く所に掲げているが、実践力がついていない		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回利用者参加の避難訓練を行い、避難体制のマニュアルを作成している。職員が数名団地内に住んでいる	年に2回、夜間の火災を想定し避難訓練を行っている。緊急時はテラスに避難することになっており、避難経路もリビングの掲示板に掲示しているが、2階という建物の構造上不安を抱く職員もいる。	災害時には、近隣住民の協力が不可欠であり、日頃からの協力が得られる関係づくりを期待する。数日分の備蓄もあることが望ましい。

【事業所名】すずらん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重した言葉かけや対応を心掛けている	言葉かけは丁寧に行うように日頃から気をつけている。排泄時の誘導もさりげなく、自尊心を傷つけないように行っている。個人のファイルはサイドボードに入れ管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定ができるような声かけをし、本人の思いを大切にしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	思い思いの時間の過ごし方を支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日に着る服は本人に選んで貰い、男性入居者には髭剃りを支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや盛り付けは、楽しみながら出来るよう広いテーブルで行なっている	魚の行商から新鮮な魚を求め、入居者の好みも聞きながら、職員が献立を立てている。昼食のみ1階のデイサービスと分担して調理するが、入居者もできることを手伝い、食事は和やかな雰囲気職員と共に楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に合わせた量や形態を提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時と就床時には個々の力に応じた口腔ケアを支援している		

【事業所名】すずらん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別記録で排泄パターンを把握し、リハパンテープ式オムツを昼夜で使い分けた支援をしている	個別の排泄パターンを把握し、事前に誘導することで自立に向けた支援を行っている。紙おむつが必要な場合でも、時間帯に合わせて種類を使い分けおむつに頼らないケアの実施に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝に冷たいミルクを飲んで貰ったり、排泄時に腹部マッサージを行なっている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	午後から希望に添って毎日入浴できるように支援している	入浴の時間帯は、職員が3人になる午後に限られるが、毎日でも入浴できるようにしている。リフトは設置されていないが、入浴しやすい浴槽を使用しているため、介護度が高い入居者でも職員2人で入浴することができる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時々状況で休息を勧めたり、昼寝ができる環境づくりを行なっている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬についての情報や記録を指示事項に記し、全職員が把握できるようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事づくり、買い物等生活歴を活かせる場面作りを支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族の協力で外出される方も数名おり、買い物の外出支援をおこなっている	普段は散歩やホームの畑に出かけることができ、ホーム周辺の住民との交流も増えてきている。買い物時の外出の支援はホームで対応できるが、個別の対応は難しいため、家族に協力を仰いでいる。	

【事業所名】すずらん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	1人ひとりに応じた支援の為、お金を持っている入居者は把握している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要な方には支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	朝の日差しがきつい為、玄関の前にすだれを吊り、季節感を採り入れている	ホームのすぐ近くには木々が茂り、リビングの窓からは季節が感じられる。テラスからも景色が楽しめるが、玄関との段差があるため自由に入出入りはできない。リビングの広さの関係もあり、車いすの入居者の場合は移動できる場所が限られている。	リビングの物の配置や、玄関とテラスの段差を見直すことで、一人ひとりが好きな場所に自由に移動できる機会が増えることを期待する。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルとソファの配置を工夫し、入居者同士思い思いに過ごせている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人ひとりが快適にすごしやすいように、家具の配置を工夫している	入り口には暖簾が掛けられ、窓にはカーテンだけでなく障子窓もあり落ち着いた空間を作り出している。室内には使い慣れた家具や馴染みの物が置かれ、快適に過ごせるようになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーの為、歩行器使用の方も安全に、かつ、自立した生活を送れている		